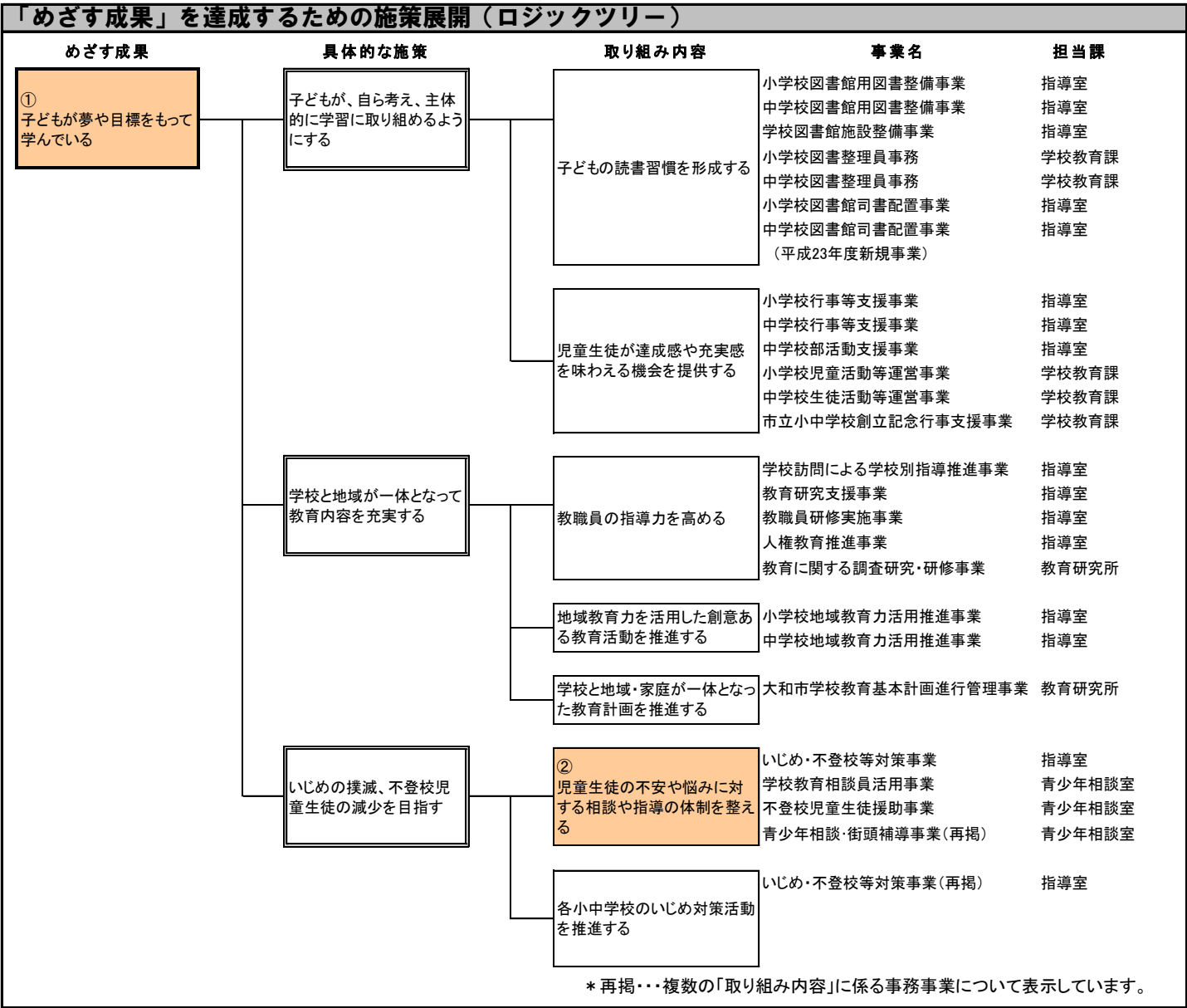


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
2－2－1　子どもが夢や目標をもって学んでいる		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・子どもが生き生きと育つまち
	個別目標	子どもの生きる力を育む
	めざす成果	子どもが夢や目標をもって学んでいる 子どもが着実に成長するために、夢や目標をもって学んでいます。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
将来の夢や目標をもっていると答えた児童生徒の割合		不登校生徒の割合（中学校）	
計画策定時		計画策定時	
現状値	75.0%	現状値	4.54%
実績値（H22）	81.6%	実績値（H22）	3.35%
中間目標値（H23）	76.0%	中間目標値（H23）	3.80%
目標値（H25）	78.0%	目標値（H25）	3.00%

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート	
主な取り組み内容	【子どもが、自ら考え、主体的に学習に取り組めるようにする】 ・学校図書館施設整備事業（ウェルカムプラン）により、平成22年度に6校の図書館リニューアルをし、小学校16校の整備を終えました。また、平成22年9月から全ての小学校に学校図書館司書を配置しました。 【いじめ撲滅、不登校児童生徒の減少を目指す】 ・不登校支援員を配置した上和田・光丘中学校の不登校生徒の出現率は、平成20年度4.3%、平成21年度4.1%、平成22年度4.0%と年々減少しています。また、その他の小・中学校で依然不登校の状態にある生徒についても、保健室への登校ができるようになったり、一部の授業への参加ができたりするなど改善に向かっていきます。 ・不登校児童生徒が通室する学校外の施設として、教育支援教室「まほろば教室」（青少年相談室内）を開設し、学校復帰を支援しました。平成22年度の通室数は23名（前年度31名）に対して、学校復帰数は20名（前年度27名）で、復帰率は87.0%（前年度87.1%）でした。

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	・読書環境の推進については、司書教諭等が中心となり、校内、家庭、地域、市立図書館とが連携していくことが重要であり、今後は中学校図書館の環境整備について検討していく必要があります。また、団体貸出等を利用し市立図書館と各学校との連携を図っていきます。 ・不登校の原因が多岐にわたり対応が難しくなっている中で、不登校の児童生徒を減少させるため、本人、保護者のニーズ（支援方法等）にあった、相談・支援体制を構築していく必要があります。
-------------------------	--

今後の展開方針		注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案	・読書環境の充実を図るため、平成23年9月から小学校と同様、中学校に図書館司書を各校1名配置を目指します	（該当する事務事業） 中学校図書館司書配置事業
既存事業の拡充	・平成23年度に3校の整備をし、全小学校の図書館整備を終了します。さらに、中学校図書館の整備について検討していきます。 ・不登校支援員を不登校生徒の出現率の高い学校に優先的に配置し、不登校児童生徒数の減少に努めます。	（該当する事務事業） 学校図書館整備事業 いじめ・不登校等対策事業
事業の廃止・縮減	・各小学校の図書整理員は、図書館司書を平成22年9月より配置したことにより廃止しました。 ・中学校については、平成23年9月より図書館司書を配置することにより、図書整理員を廃止します。	（該当する事務事業） 小学校図書整理員事務 中学校図書整理員事務
事業の効率化	・学校に配置されている教育相談支援員の業務分担を整理し、教育相談、支援体制の効率化を図ります。	（該当する事務事業） 学校教育相談員活用事業 いじめ・不登校等対策事業 特別支援教育推進事業
その他見直し	・心理、医療、福祉等関係機関との連携強化を図り、不登校支援体制の充実を図ります。	（該当する事務事業） 不登校児童生徒援助事業

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	* 平成22年度に提言を受けています。